

# 新たなサカタスタイルを目指して

丸山 至 × 島田 由香さん

酒田市長

ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社  
取締役/人事総務本部長

女性たちが輝けば地域も輝く——。女性だけではなく男性も自分の生き方を叶える場所となる  
未来の酒田に向けて、島田由香さんを迎えてお話を伺いました。



島田 由香 Shimada Yuka

2008年ユニリーバ入社後、2014年取締役人事総務本部長に就任。組織人事のエキスパートとして、2016年には社員が働く場所と時間を定める人事制度「WAA (Work from Anywhere and Anytime)」を導入、業界内外で話題となる。NLP (神経言語プログラミング) マスタープラクティショナー。

丸山 至 Maruyama Itaru

「賑わいの創出に向けて人財と風土が支える産業・交流都市づくり」をビジョンに掲げ、2015年より酒田市長を務め現在2期目。2017年「日本一女性が働きやすいまち」を目指すことを宣言、同年内閣府の「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言に賛同。

## 女性が地域を輝かせる

丸山 「日本一女性が働きやすいまち」を目指した背景には、女性のすばらしいアイデアやセンス、人間性によってこの地域はもっと光り輝くという思いを以前から持っていたことがあげられます。これからの少子高齢化で人口減少の時代に、ますます女性の力が必要だと感じています。

島田 私はもともと役員の中で女性1人でしたが、男性の社長が「それはおかしい」と言っていて、今は女性役員が3人に増えました。すると私自身も気が付いていなかった安心感を得たんです。どこかで自分はマイノリティだと感じていたんですね。男性が意識を向けてくれたこと、アクションを起こしてくれたことのすばらしさに感動しました。「日本一女性が働きやすいまち」も行動と発信を続けていくことで、市民の皆さんの意識も変化していくと思います。

## 「対話」ができる環境を

丸山 平成26年に内閣府が立ち上げた「輝く女性の活躍を加速す

## 女性の活躍で地域社会が変わる。意識変革に努めていきたいと思っています。

——丸山



る男性リーダーの会」の行動宣言には「女性活躍を加速するため、自ら行動・発信し、現状を打破し、ネットワーキングを進める」とあります。酒田でも今後独自に、「女性活躍に賛同するリーダーの会」を立ち上げて、外に発信していく計画を進めているところで。

島田 うがった見方かもしれないですが、男性のリーダーほど悩みや葛藤を表に出すまいとしているように思います。女性に対する遠慮もあるでしょうね。でも、弱さや脆さをリーダーが出せることは強みという調査結果もあります。リーダーの思いを聞くことで女性には「そんなふうに配慮してくだ

## 和を以て、個を尊重する

島田 スーパーレディは、仕事も家事も一人でやれる人という意味ではないですね(笑)。それでは女性に負担がかかって活躍できないので、男性と「対話」しながら家事・育児も分かち合おうというのが現在の女性活躍だと思います。

また、私は、何かを為し得ることで引き換えに失われるものはないと思います。ただ、日本の文化や伝統を伝える教育は必要で、例えば「和」を保つということですね。和は遠慮し合うことではなく、相手への尊敬や認識。そうしたことを学び伝えながら女性活躍を進め

さっていたんだ」と気付かされることもあるんです。でも女性たちは「もつと任せてほしい」と思っているケースが結構ありますね。

また以前、私のリーダーが言っていたのは、女性は華やかで周りを明るくしてくれる大切な存在、でも肉体的には弱い。だからこそ男性と区別されて当たり前で、これは差別ではなく「ケア」なんだと。遠慮はいらないけれど、配慮は必要ということですね。誰もが大切な存在だとリーダーが伝えることで、「思っていることが言える」「聞いてもらえる」という空気ができます。そうしていろんな意見が出されてこそイノベーションが起せる。相手の考え方に心を通わせる「対話」がなされて、女性も男性も両方の意識も変わっていく。これが成り立った時に初めて「日本一」になりえると思います。何をもちって日本一かは、酒田の皆さんが日本一だと感じていること。それでいいと思います。

ていくのはいいかもしれませんがね。

丸山 教育的な場面でのしかけも必要でしょうね。学校教育、社会教育の現場から意識を変えていかないと、女性活躍の風土形成は難しいんじゃないかと。我々行政がやるべきことの一つにこうした風土形成のための教育施策の充実があると思っています。

島田 結局は「個の尊重」ですよ。自分、そして他人という存在を尊重すること。私には尊敬する家族や仲間たちがいますが、成長の過程でものを見方を教えてくれる、気付かせてくれる存在と出会えることが一番の教育だとしたら、あらゆる人と出会える環境をつくることも大事だと思いますね。まずは私たち大人から変わるきっかけとして、自治体と民間企業との人事交流もいいかなと思います。

丸山 そういったアイデアを含め、この10万の地方都市で、女性が輝く風土を築くために私たち行政は何をすべきか、市民の皆さんの視点や意見を頂戴しながら、進めていきたいと思っています。今日はい刺激と貴重な気付きをいただき、ありがとうございます。



## 女性と男性、両方の意識が変わったとき

「日本一」は実現するはずですよ。——島田

「日本一女性が働きやすいまち」に至る私なりのシナリオは、島田さんのような考え方、行動ができるスーパーレディを育てて、酒田を人財の豊かなまちにしていこうとです。そのためにまずは地域の人々の意識を変えていくことが重要です。一方で失ってはならない日本社会の伝統的な良さというものもあると思いますが、それはどんなことでしょうか。